

日本ビオトープ管理士会 平成24年度第4回研修会



ビオトープ管理士の活かし方

ビオトープとは、bio【生命】と topos【場所】というギリシヤ語をつなげた言葉。生き物のすむ環境、つまり、池だけでなく、森も草原も海も街も全てがビオトープと呼べるのです。
そんなビオトープへ興味が湧いた方、ビオトープ管理士資格を取得した方、これからの方、資格を十分に活かしていない方必見！ビオトープ管理士の活動事例の紹介と実践的な活動方法を紹介します。



2013. 2. 17(日)

ウィルあいち

13:30~17:00



<プログラム>

13:30~14:00

基調講演「ビオトープ管理士とESD」

14:00~14:30

事例紹介「企業としてのビオトープ管理士」

14:30~14:40 休憩

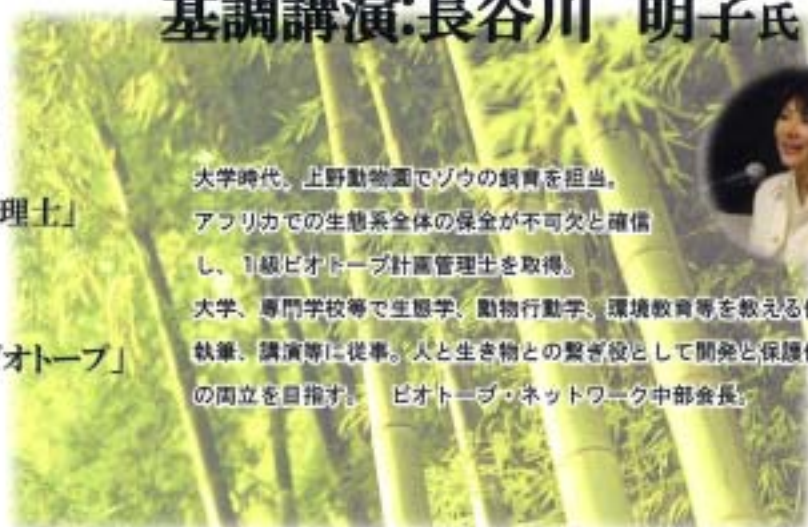
14:40~15:40

事例紹介「ビオトープ管理士と学校ビオトープ」

15:40~15:50 休憩

15:50~16:50 意見交換会

基調講演:長谷川 明子氏



大学時代、上野動物園でゾウの飼育を担当。
アフリカでの生態系全体の保全が不可欠と確信し、1級ビオトープ計画管理士を取得。
大学、専門学校等で生態学、動物行動学、環境教育等を教える傍ら、執筆、講演等に従事。人と生き物との繋ぎ役として開発と保護保全の両立を目指す。 ビオトープ・ネットワーク中部会長。



主催:ビオトープ・ネットワーク中部

問合せ:ビオトープ・ネットワーク中部 担当/宇野 FAX:0565-620-0361 mail: unendo1091@yahoo.co.jp